

## 第18回 日本-クウェート合同シンポジウム開催について

2月5、6日の両日、クウェート科学研究所（Kuwait Institute for Scientific Research: KISR）において、KISR、KNPC（クウェート国営石油会社）、石油学会（JPI）、JCCPの4社共催で「第18日本-クウェート合同シンポジウム」を開催しました。

初日のオープニングではDr. Samira Omar KISR 所長、足木 孝 駐クウェート日本大使、JCCP 平岡常務理事、Dr. Suad Al-Radwan KNPC 研究・技術部門長課長、JPI を代表して片田 鳥取大学教授が挨拶を行い、120名を超えるKISR 研究者、KNPC 職員、現地日本企業等からの出席を得て盛大なシンポジウムとなりました。

今回のテーマは、「石油産業の発展（Advancement in Petroleum Industries）」で、触媒関連から腐食等まで幅広い分野に亘り23件（内、日本から5件）の講演とともに活発な質疑応答等が交わされました。

